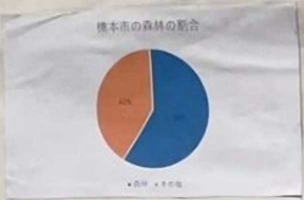
森林新聞

2021年
12月 10日
隅田小学校

森林の仕事

森林の仕事を林業という。林業は「木を植える」「木を切る」「加工して売る」が基本である。他に売ってるだけでなく、空気を入れかえる、土砂を防ぐなどの役わりがある。今はその役わりが地球温暖化によって減ってきている。地球温暖化とは地球の温度が上がることである。その地球温暖化を止めるために木を増やしている。その木を人工林という。そして今の橋本の森林の割合は57%である。他のところは30%、40%、50%より多い60%、70%、80%もあるが橋本市は上位である。だから橋本市は林業がさかんである。



うるし

さわるとかゆくなる実の名前はうるしだう
るしとは実や木にも出てくる物だ。他
にうるしの特ちょうは強酸やアルカリにも
強く金をとかす王水や、とうきガラスをと
かすフッ化水素にもびくともしない特ち
ょうがあるのだ。器にうるしをぬっ
たりもできる物なのだ。そしてう
るしは、実をさわると、かゆくな
る。他にも特ちょうがある。それはう
るしのこうきん性というのだ。たとえば
器にぬったうるしは、こうきん性が
すごいため大ようきくは24時間
後にほぼ死めつします。ほかに、せ着
強もつよいから器にぬりやすく、こうきん
もしてくれるのだ。こういったいろいろな特
ちょうがあり、自分は悪いうるしだと思って
いたが器にもぬれ、こうきんもある良いう
るしなのだ。

ヒノキとスギ

ヒノキは、少しちくちくしたところがあります。ヒノキは、すごく一まいの葉っぱが、小さいです。葉の長さは、約1mmです。ヒノキは家のはしらやてんじょうや、ゆかにもなります。

少し話が変わりますが、ヒノキは温泉にもあります。みなさんは温泉にもある木でできていた場所に入ったことがあります。か。それがヒノキなので入って下さいね。

次はスギのおもしろいところについて教えます。スギは、一番極高が高くなる木で50mくらいになります。そして日本一番多い木もスギです。日本ではトップ1です。日本の固有種にもなっています。日本の固有種となっているスギは学名のクリプトメリアヤポニカ日本のかくれた財産にもなっています。

いいにおいの葉

いいにおいするやつ

みんなで自然観察のとき山に入った。観察をしていくとなぜか、あまいにおいがしてきた。その正体は…かつらの木だった!!葉っぱの色は赤だった。桂の木の葉っぱは、ハートに似ているのだ。

桂(かつら)の木は公園や街路樹としてもよく見られるようだ。それと、桂の木の花言葉は、「不忠・不変」と言う花言葉のようだ。そして、何故いい匂いがするのかというと、マルトールという。ピロン環をもった物質らしい。マルトールとは九州までの冷温帯のけい流ぞいに分布するのだ。そして、桂の木が紅葉のときは、とても、きれいだそうだ。

キノコのひみつ

切られている木によく、キノコが生えている。そのキノコにはある働きがあるのだ。それは、そのキノコが生えている木をくさらすというのだ。木をくさらすのはだめだろ!!と思うだろう。だが、くさった木がそのままあるとじゃまになるし、そのキノコのおかげで、次生えてくる栄養にもなるのだ。その役わりをするキノコを「ベッコウタケ」という。今話したように木をかかしてくれるキノコもあるのだが、「毒」をもったキノコや、かんきょうに良くないキノコも中にはあるのだ。例えば右の写真にある「ベニテングタケ」「ドクツルタケ」「スギヒラタケ」、まだまだたくさんあるがこの3つが有名である。ベニテングタケなど見ためからあぶなそうと分かるキノコもあるが、スギヒラタケなど見ためは大丈夫そうでもスギヒラタケを食べて、亡くなってしまった事例もある。他にも食べて命を落としてしまうキノコもたくさんある。このように、見ためでキノコを食べるかはんだんするのはとてもきけんなことである。だがいいキノコもあると覚えておいてほしいのです。

ベッコウタケ

スギヒラタケ

ドクツルタケ

ベニテングタケ

ワカメが世界を救う!!

この写真を見たら変なワカメに見えますが、
実はこのワカメは世界を救うワカメかも知れない!
その理由は、このワカメの本当の名前はシアノ
バクテリアという。そしてシアノバクテリアは
35億年前にたんじょうして、初めてさん素
を出した生物だ。だから人がくらせるのだ。でもさん素をだすだけだで世界を救えるとは限らない。その理由は二酸化炭素をすて酸素をだすのだろう。だから葉っぱの元はシアノバクテリアであり、二酸化炭素を出す。そこから葉っぱがうまれたのはシアノバクテリアのおかげなのだ。そして今シアノバクテリアはいっぱい生まれてきている。だから世界を救えるかもしれない、と言われている。
あと地球に人が住めるようになったのもシアノバクテリアのおかげだ。
それらの理由から、シアノバクテリアはいろいろな人や生物が地球を救い生み出した生物なのだ。

○の赤がシアノバクテリア

シアノバクテリアは、こんなん

高野まき?

高野まきはまつの木に似ている。だから まきぼっくり ともいわれている。また固有種であり、高野山にしかないのだ!行ってみてください!もしかしたら高さが30mある高野まきがあるかもしれません。ほとんどの人が知らないかも知れませんが高野まきが開花する時期があるのです。枝上にあるのがまきぼっくりです。3月〜5月の間に高野まきが開花するので見れた人はラッキーですよ。そして、高野まきの由来は高野山に多くあり、松に似ているかるから高野まきといいます。高野まきを家の庭に植えたいという人は3〜4月、9〜10月が植えかえ、1〜2月が肥料です。やってみて下さいね。

思い出コーナー(午後)

ノコギリで木を切っているとちゅうになわをかいて、上にどんどんあげていくれん習をして、次に本番になわを、ていて木をたおすのがとてもたいへんでした。

思い出コーナー!(午前)

山の散歩!

まつぼっくり?マキボックリ?

道ばたに「マキボックリ」という物がありました。みんな「え?松ぼっくりやん」といっていました。でも、これもご存知かもしれませんが、それこそが「マキボックリ」でした。

山びこ!

上の山の散歩で山びこをしました。最初にさけんだ時はみんなのばしていたので返事がなかったです…でものばさなかったら返事がきました。帰ってきたときみんな「Yo-shi!」と言っていました。おもしろいです。みなさんも高野山へ